

4. きれいな湧水をさわろう

富士湧水コース (約3.7km)

学習テーマ



富士市の根方街道沿いには、富士山麓からの湧水がたくさんあります。豊かな湧水は、昔から地域の人々の飲料水や生活用水、水田の灌漑用水などに利用され、大切に守られてきました。「医王寺の湧水池」「かがみ石公園」「鑑ヶ淵親水公園」「原田湧水池公園」などの湧水群を歩きながら、湧水と人との関わり方、湧水で見られる生きものについて調べてみましょう。また、「竹採公園」では、いろいろな種類の竹やかぐや姫伝説について知ることができます。



START
岳南鉄道 岳南富士岡駅

15分

1 医王寺の湧水池

医王寺の参道脇にはきれいな湧水池があり、水中のバイカモやカルガモなどが観察できます。また、参道から医王寺を眺めると、その背後に富士山を見ることができます。

20分

2 竹採公園

公園内には、「竹採姫」と刻まれた古い石碑があり、「竹取物語」由来の地として人々に語り継がれてきました。園内には整備された竹林が広がり、かぐや姫の伝説やいろいろな種類の竹を詳しく学ぶことができます。

10分

3 かがみ石公園

湧水の中にあつた大きな石を鏡としたという伝説から「かがみ石」という名がついており、その時の石が石碑として立っています。公園前の洗い場にある豊富な湧水はとても冷たく、今でも地域の人々の生活用水として利用されています。

7分

4 鑑ヶ淵親水公園

水量の豊富な滝川に面した親水公園です。その昔、源頼朝が富士川の合戦の時に鎧を岩にかけて身体を洗い流した所と言われています。

3分

5 原田湧水池公園

原田湧水池公園には、地下水が湧き出る場所が随所にあります。園路や水車小屋などが整備され、まちづくりのイベント場所や学習の場として利用されています。

20分



GOAL
岳南鉄道 岳南原田駅

環境学習プログラム

富士山に川がないのはなぜ？

富士山周辺には、年間約25億トンもの雨が降りますが、富士山には川がありません。いったい雨水はどこにいったのでしょうか。実は富士山に降った雨は水はけの良い溶岩の地表からしみ込んで地下を流れ、富士山のみもとで湧水となっているのです。

県内では、富士市や富士宮市、三島市で多くの湧水群が分布しているほか、大規模なものでは東洋一の湧水量を誇る柿田川があります。

湧水をさわってみよう！

湧水は1年を通して水温がほぼ一定(富士市の湧水の場合は11~15℃程度)で、夏は冷たく、冬は暖かく感じます。実際に水をさわってみましょう。

水草を観察しよう！

湧水池や湧水河川では、きれいな水に生育するバイカモやミクリなどが生育しています。一方、汚れた水の川では、オオカナダモなどが多く繁殖しています。



水草の種類を観察して、水のきれいさを比べてみましょう。

バイカモ(梅花藻)
夏から初秋にかけてウメのような白い花を水面につける。

湧水と生活との関わりを調べよう！

湧水は昔から飲み水や生活用水、水田の灌漑用水など、地域の人々の生活に欠かせない役割を果たしてきました。また、製紙産業をはじめ、多くの水を利用する産業の発展にも寄与してきました。しかし、上水道の整備に伴って人と湧水との関わりも変わってきています。

湧水が地域でどんな使われ方をしているか、湧水地点を巡りながら調べてみましょう。



洗い場



水くみ場